

表1 死因順位の選び方 (昭和54年以降)

Table 1 Categories for ranking of leading causes of death (since 1979)

乳児を除く死亡		乳児死亡	
简单分類番号	死 因	乳児简单分類番号	死 因
1	コレラ	1	細菌性赤痢及びアメーバ症
2	腸チフス	2, 26	胃腸炎
3	細菌性赤痢及びアメーバ症	3	結核
4, 72	胃腸炎	4	ジフテリア
5, 6	結核	5	百日咳
7	らい	6	破傷風 (新生児破傷風を含む)
8	ジフテリア	7	敗血症 (新生児敗血症を含む)
9	百日咳	8	急性灰白髄炎
10	猩紅熱	9	麻疹
11	髄膜炎菌感染	10	日本脳炎
12, 84	破傷風	11	ウイルス肝炎
13, 86	敗血症	12	梅毒
14	急性灰白髄炎	15-16	悪性新生物
15	痘瘡	17	良性及び性質不詳の新生物
16	麻疹	18	栄養失調症
17	日本脳炎	19	髄膜炎
18, 19	ウイルス肝炎	20	脳性小児麻痺
20	発疹チフス及びその他のリケッチア症	21	心疾患
21	マラリア	22, 24	肺炎及び気管支炎
22	梅毒	23	インフルエンザ
23, 85	カンジダ症	25	腹腔ヘルニア及び腸閉塞
24	日本住血吸虫症	28-32	先天異常
25	フィラリア症	33-36	母側病態による新生児の障害
28-37	悪性新生物	38-39, 40	出産時外傷, 低酸素症, 分娩仮死及びその他の呼吸器病態
38	良性及び性質不詳の新生物	41	詳細不明の未熟児
39	糖尿病	42	同種免疫による新生児溶血性疾患
40	栄養欠乏症	43	その他の周産期黄疸
41	貧血	44, 45	新生児の出血及び新生児出血性疾患
42	精神障害	E51 - E53	不慮の事故及び有害作用
43	髄膜炎	E54	その他の外因
44	中枢神経系の非炎症性疾患		
45	急性リウマチ熱		
(46, 51-52)	心疾患		
(54-56)	心疾患		
48-49	高血圧性疾患		
58-60	脳血管疾患		
61	循環系のその他の疾患		
62, 63, 66	肺炎及び気管支炎		
64	インフルエンザ		
67	肺気腫		
68	喘息		
69	胃及び十二指腸潰瘍		
70	虫垂炎		
71	腹腔ヘルニア及び腸閉塞		
73	慢性肝疾患及び肝硬変		
74	肝疾患 (肝硬変を除く)		
76-77	腎炎, ネフローゼ症候群及びネフローゼ		
78	前立腺肥大症		
79, 80	妊産婦死亡		
81	先天異常		
82	出産時外傷, 低酸素症, 分娩仮死及びその他の呼吸器病態		
87	その他の周産期の死因		
88	精神病の記載のない老衰		
E104-E114	不慮の事故及び有害作用		
E115	自殺		
E116	他殺		

表2 死因順位の選び方 (昭和43年から昭和53年まで)

Table 2 Categories for ranking of leading causes of death (1968~1978)

乳児を除く死亡		乳児死亡	
国際50項目死因分類番号	死 因	S分類番号	死 因
B 1	コレラ	S 1	細菌性赤痢およびアメーバ症
B 2	腸チフス	S 2, S 24	胃腸炎
B 3	細菌性赤痢およびアメーバ症	S 3	結核
B 4, B 46, e	胃腸炎	S 4	ジフテリア
B 5, B 6	全結核	S 5	百日咳
B 7	ペスト	S 6	丹毒
B 8	ジフテリア	S 7	破傷風
B 9	百日咳	S 8	敗血症
B 10	レンサ球菌性咽頭炎および猩紅熱	S 9	急性灰白髄炎
B 11	髄膜炎菌感染	S 10	麻疹
B 12	急性灰白髄炎	S 11	日本脳炎
B 13	痘瘡	S 12	梅毒およびその続発症
B 14	麻疹	S 14	悪性新生物 (リンパおよび造血組織の新生物を含む)
B 15	チフスおよびその他のリケッチア症	S 15	良性および性質不詳の新生物
B 16	マラリア	S 16	栄養失調症
B 17	梅毒および続発症	S 17	髄膜炎
B 18, a	癩	S 18	脳性けい性小児麻痺
B 18, b	破傷風	S 19	心疾患
B 18, c	敗血症	S 20	インフルエンザ
B 18, d	日本脳炎	S 21, S 22	肺炎および気管支炎
B 18, e	伝染性肝炎	S 23	腸閉塞およびヘルニア
B 18, f	カンジダ症	S 25	先天異常
B 18, g	日本住血吸虫症	S 26	出生時損傷, 難産およびその他の無酸素症, 低酸素症
B 18, h	糸状虫症	S 27	母体の妊娠時の疾患による新生児の障害
B 19	悪性新生物 (リンパおよび造血組織の新生物を含む)	S 28	新生児溶血性疾患
B 20	良性および性質不詳の新生物	S 29	詳細不明の未熟児
B 21	糖尿病	S 30	新生児の出血性疾患
B 22	ビタミン欠乏症およびその他の栄養欠乏症	S 31	新生児の黄疸
B 23	貧血	S 32	その他の新生児の異常
B 24	髄膜炎	S 34	不慮の事故
B 25	活動性リウマチ熱	S 35	その他の外因死
B 26, B 28, B 29	心疾患		
B 27	高血圧性疾患		
B 30	脳血管疾患		
B 31	インフルエンザ		
(B 32, B 33, a)	肺炎および気管支炎		
(B 46, d)	肺気腫		
B 33, b	喘息		
B 33, c	消化性潰瘍		
B 34	虫垂炎		
B 35	腸閉塞およびヘルニア		
B 36	肝硬変		
B 37	腎炎およびネフローゼ		
B 38	前立腺肥大症		
B 39	妊娠, 分娩および産褥の合併症		
B 40, B 41	先天異常		
B 42	出生時損傷, 難産およびその他の無酸素症, 低酸素症		
B 43	その他の周産期の死因		
B 44	精神病の記載のない老衰		
B 45, a	精神障害		
B 46, a	中枢神経系の非炎症性疾患		
B 46, b	肝臓の疾患 (肝硬変を除く)		
B 46, f	不慮の事故		
BE 47, BE 48	自殺		
BE 49	他殺		
BE 50, a	他殺		

注: 昭和42年以前の死因順位の選び方は, 昭和53年人口動態統計上巻75ページ付表3を参照されたい。